

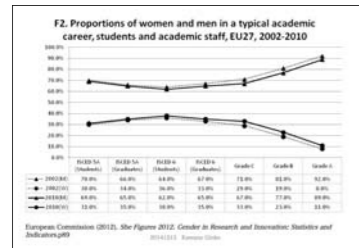
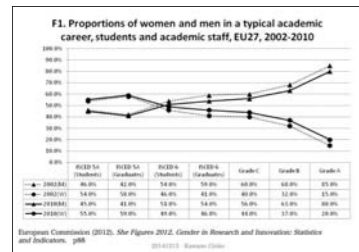
芝浦工業大学 2014年度男女共同参画推進シンポジウム —理工系女性研究者のキャリア形成と研究連携—

2014年5月1日現在、芝浦工業大学の教員のうち女性は10.5%、3学部17学科中7学科に女性教員がいない。女子学生は13.8%である。芝浦工業大学しかり、女性が少ない工学分野をはじめとする理工学女性研究者の育成・採用・登用を加速する具体的取組を検討することを目的に、103名の参加者を得て、12月13日(土)、豊洲キャンパスで「2014年度男女共同参画推進シンポジウム—理工系女性研究者のキャリア形成と研究連携—」を開催した。

シンポジウムに期待して

村上雅人学長の「開会の辞」、五十嵐久也理事長の「主催者挨拶」に続き、和田勝行文部科学省科学技術・学術政策局人材政策課人材政策推進室長と、羽入佐和子お茶の水女子大学長より来賓挨拶を頂いた。五十嵐理事長は、長年、日本の産業界に有為な人材を送り出してきた大学、そしてグローバルな大学として恥じない女性技術者・研究者の育成をしていく決意を、和田室長は補助事業が成果をあげることへの期待を、そして羽入学長は「お茶の水女子大学と芝浦工業大学が連携して女性の理工系人材育成輩出の新たなモデルを構築しよう」と述べられた。

続いて、山形大学地域教育文化学部河野銀子教授による講演I「科学技術分野の男女共同参画推進—グローバルな視点から」が行われた。河野教授は、EUの取組みを手掛かりに、日本で、男性に偏っていた科学技術人材、とくにアカデミック・キャリアの上位に女性を増やしていくために、ジェンダー統計を整備し、統計を解釈するための理論を発展させ、分析結果に基づいて政策を立案し、それに、学界と産業界と政策担当者が協働して取組んでいく必要を指摘した。

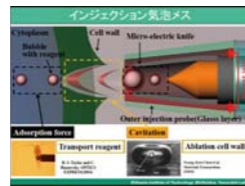


引用者注:
EUのアカデミック・キャリアの段階別性別比とその経年推移
F1は全分野、F2は科学技術分野

5年10年先を見据え、役に立つOnly Oneの技術を作り出す

次に、工学部山西陽子准教授による講演II「医薬理工の異分野融合におけるイノベーションとキャリアパス」が行われた。山西准教授は、まず、自身のキャリアパスを通じて、何が次を拓く転機・契機となったかを振り返った。次いで、現在の、マイクロ工学とバイオメディカル異分野融合領域での、高速発射気泡による「針なし注射器」の開発研究とその成果、可能性を述べた。

そして、研究生活上大事にしていることとして、5年・10年後を見据えて役に立つOnly Oneの技術を自分の手で作り出す感動を持ち続けること、人脈を大切にすること(異分野こそチャンス)等を挙げた。



女性の育成・採用を加速するために

講演を受けて、パネル・ディスカッション「女性研究者の採用・育成加速のためのポジティブ・アクション」が行われた。パネリストは、河野銀子教授、村上雅人学長、村上公哉理事・工学部教授、井上雅裕学長補佐・システム理工学部学科主任、山西陽子准教授、コーディネイターは、デザイン工学部野田夏子准教授が務めた。ディスカッションでは、芝浦工業大学の女



芝浦工業大学の男女共同参画、そしてDiversity & Inclusion推進の強い決意を乗せて、男女共同参画推進室ニュースレター創刊号をお届けします。手にして下さる皆さまからご意見を頂きながらニュースレターをより良いものへと育てていきます。

性の採用と育成の加速をめぐって次のようなことが論じられた。まず、産業界とのつながりが強い芝浦工業大学は、民間企業的女性技術者の研究力強化や研究人材としての育成に貢献できる、ということが挙げられた。具体的には、博士後期課程社会人早期終了コースに磨きをかけ、社会人女性大学院生の進学を促進する等である。次に、女性の採用促進を重視したポストの新設、可能性に着目した育成途の女性の積極的採用等「戦略的人事」を展開することである。それは、女性研究者コミュニティ、研究力強化支援・両立支援の充実等によって、優秀な女性研究者や女子学生がめざす大学になる取組みと両輪であることも確認された。

次へ、そして高いレベルの挑戦を

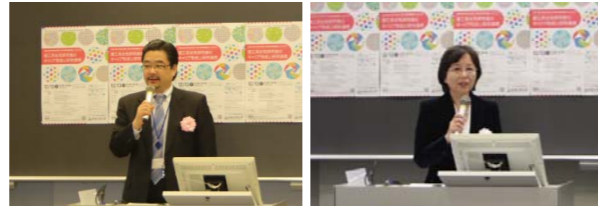
しめくりに、文部科学省和田室長と独立行政法人科学技術振興機構木村忠正プログラム主管よりシンポジウムの講評を頂いた。和田室長は「補助事業をインセンティブに大学としての取組みのしこみを構築してほしい」との、木村プログラム主管は「新技術新産業分野の創出・育成と女性の育成加速・女性研究者増員を併せた取組等、高いレベルの挑戦を」との期待を述べられた。

國井秀子男女共同参画室長の総括と謝辞を以てシンポジウムを閉じた。



学長開会の辞

理事長主催者挨拶



文部科学省室長来賓挨拶

お茶の水女子大学学長来賓挨拶

芝浦工業大学男女共同参画推進室入試・広報WG責任者 小野直樹

NEWSLETTER

文部科学省科学技術人材育成費補助事業「女性研究者研究活動支援事業」(一般型) Gender Equality Promotion Office, SHIBAURA INSTITUTE OF TECHNOLOGY 2015.2

芝浦工業大学 男女共同参画推進室 ニュースレター

芝浦工業大学 男女共同参画推進室 発行/芝浦工業大学男女共同参画推進室

Vol.1 No.1

[創刊号]

Diversity and Inclusion 男女共同参画の実現をめざして



芝浦工業大学学長
村上 雅人

芝浦工業大学は2014年にスーパーグローバル大学に選定されました。大学のグローバル化に大切な要素は、Diversity and Inclusion(多様性の受容)です。世界の大学では、教員も職員も学生もいろいろな国の出身者が集まり、互いに切磋琢磨しています。教育も研究も多様性の中でこそ輝くと言われています。この多様性には、もちろん性別も含まれます。女性が活躍できる場は、男性も力の発揮できる場所なのです。これからの21世紀の世界は、理工学分野での女性の活躍が大いに期待されるとともに、イノベーション創出には男女が協調、協働することが必須とされています。芝浦工業大学は、世界に開かれた大学を目指して、男女共同参画を積極的に推進していきます。



芝浦工業大学
男女共同参画推進室
ニュースレター創刊にあたって

芝浦工業大学男女共同参画推進室長
國井 秀子

日本は男女格差が極端に大きい国ですが、今後は女性の活躍が大いに期待されます。それは、単なる労働力でなく、多様性のある、発展的な社会の構築のためです。これまで女性に閉ざされがちだったテクノロジーの分野では、とりわけ女性の活躍が重要です。多様な新しい視点と分野間の連携によってこそ、イノベーションは加速されるからです。

芝浦工業大学は、Diversity & Inclusionの実現に向けて男女共同参画推進を重視し、2013年10月に男女共同参画推進室を設置しました。開設から1年余、男女共同参画推進室は、組織体制を増強し、活動を拡げてきました。その成果をお知らせし、理解を深めて頂くため、ここに「芝浦工業大学男女共同参画推進室ニュースレター」を創刊します。本ニュースレターが学内外で活用され、男女共同参画推進の輪が広がることを願っております。

男女共同参画推進室の紹介

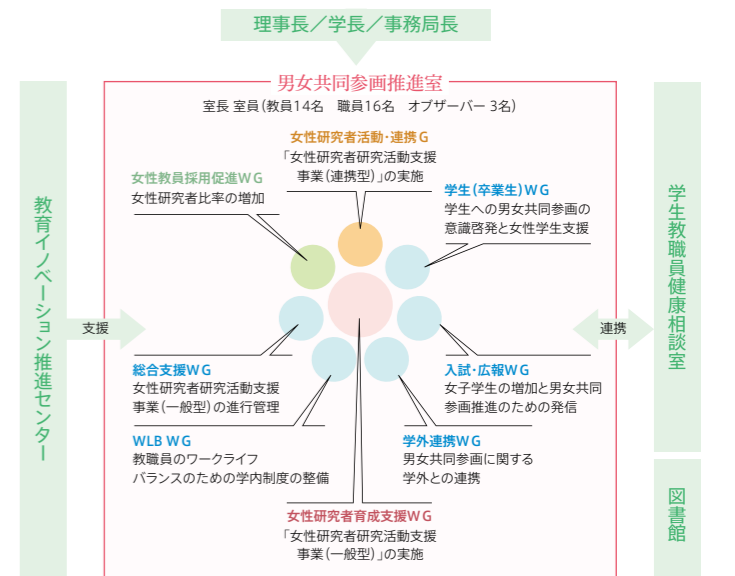
男女共同参画推進室は、Diversity & Inclusion(多様性とその受容)を理念とし、女性教員数比率の向上、女子学生数比率の向上、ライフイベント中の教員のための環境整備を、「チャレンジSIT-90」作戦、「女性研究者研究活動支援事業」(一般型)および(連携型)に取組む活動目標としている。

男女共同参画推進室の組織体制

男女共同参画推進室は、理事長/学長、直接には事務局長の下に置かれ、男女共同参画推進室長1名、教員14名、職員16名の男女共同参画推進室員を構成員に、密に連携して機能する7つのワーキング・グループ(WG)および「女性研究者活動・連携グループ」で構成されている。

男女共同参画推進室員

オブザーバー	学長 村上 雅人	副学長 教育イノベーション推進センター長 米田 隆志	事務局長 早乙女 徹	
男女共同参画推進室長	國井 秀子(学長補佐 大学院工学マネジメント研究科教授)			
男女共同参画推進室員	伊藤 和寿(学長補佐 システム理工学部教授) 小野 直樹(学長補佐 工学部教授) 中村 朝夫(学長補佐 工学部教授) 伊藤 洋子(工学部教授) 橋田 規子(デザイン工学部教授) 松浦 佐江子(システム理工学部教授) 齋藤 敦史(学長補佐 工学部准教授) 岡田 佳子(工学部准教授)	野田 夏子(デザイン工学部准教授) ホートン広瀬 恵美子(工学部准教授) 山西 陽子(工学部准教授) 山本 創太(工学部准教授) 内藤 和美(男女共同参画推進室教授) 中野 美由紀(男女共同参画推進室教授) 吉川 倫子(大宮学事部長) 岩永 真二(芝浦学生課長)	小川 裕司(入試課長) 久保 ひとみ(豊洲学生課長) 白石 美知子(大学企画課長) 羽野 文雄(産学官連携課長) 鈴木 洋(教育イノベーション推進センター事務課長) 村川 勇介(企画広報課長) 山下 智子(人事課長) 伊藤 紀子(大学院・MOT事務課長補佐)	古屋 雄高(大宮学生課長補佐) 長嶋 美代子(教育イノベーション推進センター事務課長補佐) 加藤 美南(大宮キャリアサポート課) 仙波 亮典(グローバル教育推進課) 前本 歩(大宮学生課) 茂木 あずさ(地域連携・生涯学習企画推進課)
スタッフ	堀江 涼子(男女共同参画推進室)			



2014年度の主な活動

2014年4月から12月までの
男女共同参画推進室の主な活動を紹介する。

May
5

[18日]
大宮祭での男女共同参画推進
ポスターとリーフレットの展示



大宮祭ポスター展示

[2日]
Shiba-joプラチナネット
ワークの設立

互いにつながり、躍進を支援しあうことを目的に、芝浦工業大学の女性の卒業生・教職員・学生のネットワーク「Shiba-jo プラチナネットワーク」が設立された。



Shiba-joプラチナネットワークの設立

[6日]
2014年度
第1回男女共同参画推進ワークショップ
—女性教員増員よろずお悩み相談ワークショップ

女性教員のいない学科の解消・女性教員の増員について認識を深め、方策を具体化することを目的に、学長はじめ教員30名でワークショップを行った。



女性教員増員よろずお悩み相談ワークショップ

July
7

[5日]
芝浦工業大学柏中学高等学校
「理系女子講演(交流会)」

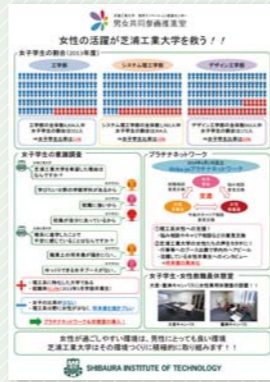
中学3年生から高校2年生まで計62名の女子生徒が熱心に耳を傾け、パネリストを務めた同校卒業の女子在学生と活発に交流した。

August

8

[3日・23日・24日]
「オープンキャンパス2014」
での活動

パネル「女性の活躍が芝浦工業大学を救う」を展示し、学生サークル「女子サークル」が休憩・相談ブースを開設した。



オープンキャンパスでのパネル展示

[28日]
日本工学教育協会 第62回年次大会
平成26年度工学教育研究講演会 オルガナイズドセッション
〈ダイバーシティの観点からみるリケジョの活躍〉での報告

芝浦工業大学の男女共同参画推進、女性研究者研究活動支援の活動について2題の報告を行い、パネル・ディスカッションに参加した。

[学生リーダー研修:22日・ワークショップ:25日~27日]

Fab Girl Projectの支援

電子工作を内容とする女子学生による課題解決型学習プロジェクトであり、若手女性教員の共同研究でもあるFab Girl Projectの実施を支援した。



製作風景

作品の1つ「観用チンアナゴ」

September

9

[7月11日~10月22日]
男女共同参画推進ロゴマーク
およびポスターの学内公募

男女共同参画推進のロゴマークとポスターの最優秀賞各1点を選定し、採用した。

芝浦工業大学
男女共同参画推進室

- 男女共同参画推進ロゴマーク
作者: デザイン工学科3年 大塚 紘也
- 男女共同参画推進ポスター
作者: デザイン工学科3年 伊東 優



October

10

[16日]
2014年度
第2回男女共同参画推進ワークショップ
—女子学生大学院進学促進ワークショップ

女子学生の進学モチベーションの形成と、女性を理工学の中核人材として育成するための環境整備をテーマに、学長はじめ11名でワークショップを行った。



女子学生大学院進学促進ワークショップ

[30日]
「女性研究者研究活動支援事業(連携型)」の採択

お茶の水女子大学、芝浦工業大学、(独法)物質・材料研究機構3機関による「女性研究者研究活動支援事業(連携型)」(2014~2016年度)が採択された。



男女共同参画推進パネル

[10月31日~11月2日]
芝浦祭での
男女共同参画推進パネル
の展示

November

11

[22日]
「第20回ホームカミング・デー」
での活動

「第20回ホームカミング・デー」には女性卒業生全員が招待された。男女共同参画推進室とShiba-joプラチナネットワークの共催コーナーで、パネル展示、Shiba-joプラチナネットワークの紹介、女性卒業生へのアンケート調査を行った。



[26日]
文部科学省
「女性研究者研究活動支援事業シンポジウム2014」への参加

ポスター「芝浦工業大学男女共同参画推進室の活動と女性研究者研究活動支援事業」を展示して取組を紹介し、「ポジティブ・アクション」、「研究力強化・リーダーシップ養成」の2分科会で討論に参加した。



女性研究者研究活動支援事業シンポジウム2014でのポスター展示

December

12

[7日~22日]
2014年度男子学生意識調査の実施

昨年度実施した女子学生意識調査に続き、学部4年生以上の男子学生を対象に男女共同参画推進に関する意識調査を行った。

[13日]
2014年度男女共同参画推進シンポジウム
—理工系女性研究者のキャリア形成と研究連携—
P.4に特集する。

年間を通じた活動

女性教員の集い

教員の1割にすぎない女性教員間のつながりを深め、専門を異にする研究者の対話から新たな研究が創出されることを期して、研究交流会「女性教員の集い」を開催してきた。

開催日	研究報告者	報告題名
3/25	松浦佐江子教授	ソフトウェア工学教育支援研究
5/8	大倉典子教授	情報システム工学研究室(大倉研究室)の研究紹介
	菅谷みどり准教授	理系女子×女性教員PBL Fab Girl Projectの提案
6/18	谷田川ルミ准教授	現代女子学生のライフコース展望-大学生調査の結果から
7/9	橋田規子教授	女性コミュニティを活用した産学連携活動
	野田夏子准教授	ソフトウェアプロダクトライン開発のためのスケーラブルなモデリング手法
9/16	川口恵子教授	英語学術論文中の人称代名詞の分析
	岡田佳子准教授	ソーシャルスキル教育:人間関係の力、コミュニケーションの力を育てる教育とは?
	ウオント盛香織准教授	理工系大学における多文化共生の課題と可能性
10/22	伊藤洋子教授	建築史—理系の史学—
	芹澤 愛助教	3Dプリンターを用いたものづくり
11/12	越阪部奈緒美教授	ポリフェノールと生活習慣病
	山崎敦子教授	A Brief History of My Research and More
	本田まり准教授	生命の始まりおよび終わりにおける法と倫理
12/16	平田貞代准教授	エスノグラフィを応用する技術経営
	加藤恭子准教授	経営学教員が工学部大学で貢献できることは何か
	大成優子准教授	都市における身体性

ライフイベント中の女性研究者への男女共同参画研究支援員の配置

育児・介護等により研究のための時間が制約される女性研究者の研究時間を確保し、育児や介護と研究の両立、研究水準の維持をはかるため、該当の女性研究者に男女共同参画研究支援員として大学院生を配置している。4月から12月までの間、6名の女性研究者に11名の男女共同参画研究支援員を配置した。男女共同参画推進研究支援員にとっても成長の機会となるよう、月1回、男女共同参画研究支援員研修を実施している。



男女共同参画研究支援員研修風景

女子学生・教職員休憩室

豊洲・大宮両キャンパスに、女子学生・教職員休憩室を設け、体調変化やリフレッシュが必要な時、乳幼児を連れての休日出勤時等に利用頂いている。